www.printo.it/pediatric-rheumatology/JP/intro

薬物療法

版 2016

8. レフルノミド

8.1 性状

レフルノミドはメトトレキサートが無効か、あるいは副作用で使えない患者のための代替薬です。しかし、小児関節炎における本薬の使用経験は乏しく、JIAに対する使用は規制当局から承認されていません。

8.2 投与量、投与経路

体重20 kg未満の小児は初日に100 mgのレフルノミドを服用し以後１日おきに10 mgの維持量を服用します。体重20 – 40 kgの小児は最初の2日間100 mg/dayを服用し以後毎日10 mgの維持量を服用します。40 kgを超える小児は最初の3日間100 mg/dayを服用し以後毎日20 mgの維持量を服用します。
レフルノミドは催奇形性があるので、妊娠可能な若い女性は本薬による治療を開始する前に検査して妊娠していないことを確認し、適切な避妊措置を講じなければなりません。

8.3 副作用

下痢、嘔気、嘔吐が主な副作用です。副作用が発現した場合、医学的管理下でコレスチラミンによる治療を要します。

8.4 主要な小児リウマチ性疾患適応症

若年性特発性関節炎 *
*若年性特発性関節炎に対する本薬の使用は米国でも日本でも承認されていない。